

日本温泉協会のかじ取り

会員総会記念特別インタビュー

震災の影響を調査 地熱開発の動きを懸念 排水問題は議論重ね

会長
たき たが お
滝 多賀 男氏

一般社団法人へ移行 Tポイントの活用視野 新執行部を全面支援

東日本大震災と福島第1原発事故は温泉・観光地に大きな影響を与えた。特に、原発事故は日本温泉協会が懸念する地熱発電への注目が集まる恐れもある。会員減少、財政基盤確立など、協会が抱える問題をどうクリアしていくのか、6月23日、山梨県甲府市の湯村温泉・常磐ホテルで開かれる会員総会を前に滝多賀男会長にインタビューした。(聞き手・内井高弘) 下呂温泉の水明館で



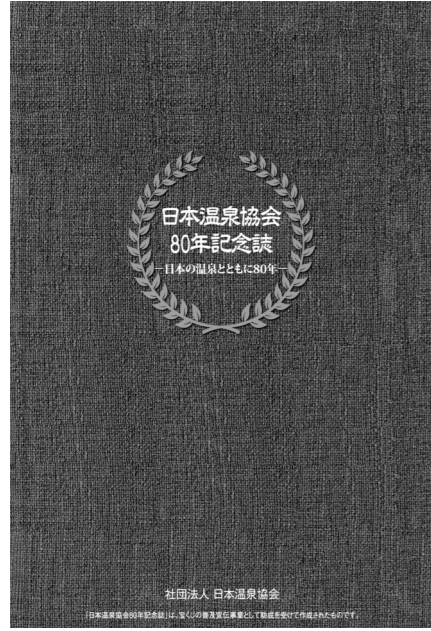
東日本大震災の影響は温泉・観光地に及ぼす影響は大きい。下呂温泉にも及ぼす影響は大きい。温泉地同様、湯村温泉もヤンセルが相次ぎ、下呂全体では4万人ほどのキャンセルがあった。ゴールデンウィークを境に旅行自粛ムードも薄まりつつあるとはいえ、業種は得意な。現在実施している特別宿泊プランなどのように、集客策を絶え間なく行う必要がある。

温泉排水問題も依然として残っています。現在の暫定排水基準値は13年6月まで適用されることになったが、それ以降は未定だ。また、同じ問題を繰り返す。下水道も普及してあり、そこに流すことで中和されることも考えられる。学術部からは地方自治体に働きかけ、一緒に対応すべきだとも指摘されている。また先のことや、機会あること議論していい。

約の比較の緩やかな一般社団法人の道を歩むべき」との結論に至った。

80年記念誌を刊行 温泉の貴重な資料

日本温泉協会は2009年に創立80周年を迎えた。これを記念して80年記念誌を制作し、今年1月下旬に刊行した。「日本の温泉とともに80年」の副題を付け、協会80年の歩みと、温泉の歴史をたどる貴重な1冊といえる。

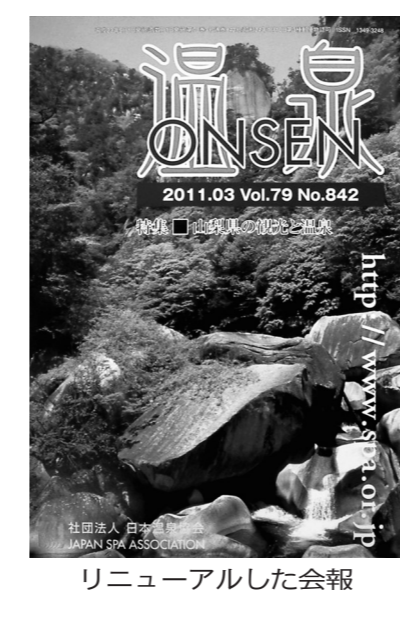


協会の基盤強化を掲げ、会員数の増加に取り組みしています。協会の基盤強化を掲げ、会員数の増加に取り組みしています。協会の基盤強化を掲げ、会員数の増加に取り組みしています。

協会の基盤強化を掲げ、会員数の増加に取り組みしています。協会の基盤強化を掲げ、会員数の増加に取り組みしています。協会の基盤強化を掲げ、会員数の増加に取り組みしています。



協会の基盤強化を掲げ、会員数の増加に取り組みしています。協会の基盤強化を掲げ、会員数の増加に取り組みしています。協会の基盤強化を掲げ、会員数の増加に取り組みしています。



リニューアルした会報

iPadで読む。

iPhone4 アンドロイドにも対応!

- 毎週号の全記事が読める(PC版、スマートフォン版)
- バックナンバーも読める(PC版、スマートフォン版)*
- キーワードで記事検索ができる(PC版、スマートフォン版)
- データベース機能で過去記事を検索(PC版)*
- 紙面をプリントアウトできる(PC版)
- 記事をスクラップ(PC版で予定)

観光経済新聞 電子版	定期購読料
PC版(スマートフォンまたはiPad 1台分の無料ID、PW付き)	年額 ¥ 7,350(税込み)
スマートフォン版(iPhone・iPad・アンドロイド対応)	月額 ¥ 525(税込み)
(参考)週刊 観光経済新聞	年額 ¥11,000(税・送料込み)

2010年5月15日から好評配信中

無料試し読みとお申し込みはこちら

<http://www.kankokeizai.com>

観光経済新聞 電子版

info@kankokeizai.com
03-3827-9800

観光経済新聞電子版は、方正株式会社が提供する電子新聞プラットフォーム「ニュースメディアスタンド」(https://newsmediastand.com)を経由して配信します。